

箱根神社御鎮座一二七〇年奉祝記念事業 募財修了のご報告

謹啓 大寒の候 愈々ご清祥の段慶賀に存じます

陳者 令和七年元旦より進発致しました箱根神社御鎮座一二七〇年奉祝記念事業につきましては格別なる御高配を賜りましたこと洵に有難く厚く御礼申し上げます

御蔭をもちまして皆様からの赤誠溢るゝ御篤志により 奉賛募財金額は目標を遙に越え予定の一月末日を以ちまして募財期間を恙無く修める事と相成りました

本年三月末の事業完遂に向けて 引続き皆様と共に邁進して参る所存でございますので弥増のご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます

時節柄 皆様方の御健勝と益々の御発展を祈念申し上げます 先ずは右略儀ながら寸書を以て御礼の御挨拶旁々募財修了のご報告まで申し上げます

敬 白

令和八年二月一日

箱根神社宮司小 澤 修



奉祝

御鎮座一二七〇年奉祝記念事業のご奉賛のお願い

今春元旦、当神社御鎮座一二七〇年を奉祝する記念事業を発願致しました。

『御成敗式目』誓願神社の最初に

名を連ねる当箱根神社では、第一条に定められる「神社を修理し、祭祀を専らにすべきこと」即ち「神社殿をそして境内を整え、神祭り

ら」と、これに続く「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」即ち「神様は私共の尊崇・感謝と祈願をお受けに

ざいます。この先の最終整備事業として十年後に予定しております御屋根の葺替と拝殿内部改修及び向拝改

築に加え、第三駐車場他境内及び施設各所の整備事業でございます

お進みいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。尚、事業工程は令和七年四月一日～八年三月末日を予定しており、工期中、令和七年八月中旬以降同年十一末日までの約四ヶ月間は、恒例祭並びに御祈禱は儀式殿にて斎行し、結婚式は神楽殿でのご奉仕となりますが、祭祀の厳修とご参拝の皆様方へのご不自由を極力押さえて進めて行く所存でございます。かくして令和八年の新春は、皆様とご一緒に、新しい御社殿で迎える予定ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様には、重なるご奉賛のお願いにて誠に恐縮に存じますが、最終整備事業の完遂に向けて格別なるご高配を賜り、赤誠溢るゝ真心で、ご一緒に御社殿並びに境内を整え、神祭りを奉修して日本の国と国民の安寧発展をご祈念下さいますよう、奉祝記念事業ご奉賛のお願いを申し上げます。



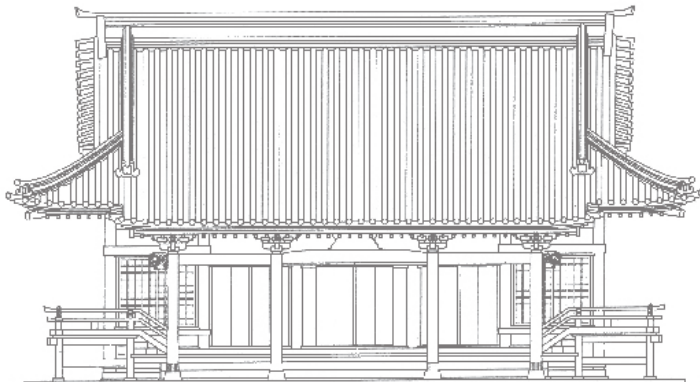
拝殿内部の改修

ん。そうすることで神々の御加護のもと、日本の国の発展と、国民の幸福はいつまでも続くのですから」と、これに続く「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」即ち「神様は私共の尊崇・感謝と祈願をお受けに

たが、昨春秋に御本殿両脇にある浜縁高欄の腐食が発覚し、その全面修造が急務となりました。よって今般御本殿浜縁高欄の修造に併せ、懸案の前述事業を加えて、今後の震災対応やバリアフリーを更に発展させた、より強固で今以上に景観も整い、ご参拝の皆様の利便を増し、更には神社の尊厳をいよいよ高める最終整備事業として発願したものであります。

令和七年元旦
箱根神社宮司 小澤修二
責任役員 川邊隆夫
責任役員 川口延明
責任役員 杉山幹雄
責任役員 村瀬幸男
箱根神社総代 一同

御社殿正面向拝の改築



御本殿両側高欄・浜縁の修造

◇ご奉賛について

総事業額

一、金 参億円也 (内奉賛募財目標額金一千万円也)

事業内容

御本殿浜縁高欄修造・御社殿御屋根葺替・拝殿内部改修・向拝改築・職員職舎新築・九頭龍本宮休憩所全面改修・石玉垣新設・記念碑建立・第三駐車場他各所の境内及び諸施設の整備

ご奉賛金

一口 金一万円也

一、金 一 万円 以上 ご芳名を記した芳名簿を御神前に安置・祈願し永久保存致します

一、金 五 万円 以上 右芳名簿祈願を奉修し、ご芳名を記念碑に刻銘致します

一、金 五十万円 以上 右芳名簿祈願を奉修し、ご芳名を石玉垣並びに記念碑に刻銘し、一、金 壹 百万円 以上 感謝状と記念品を贈呈致します。

(金 壹 百万円 以上の方は記念碑の刻銘が異なります)

但し、石柱の本数が三十八本と限られておりますので、刻銘が、正面と両側面になる場合もございます事を何卒ご了承願います。また、前述事由により先着順とさせていただきますので、洵に恐縮乍ら、よろしくお願い申し上げます

お申込

申込用紙にご記入の上、ご奉賛金を添えてお申込み願います

ご納金

口座振込にてご奉賛の方は、お申込みの上、次の口座にお振込み願います

①さがみ信用金庫 湯本支店 普 〇〇五〇五一六

□座名 宗教法人箱根神社

②スルガ銀行 箱根支店 普 六六八三〇〇

□座名 宗教法人箱根神社

申込締切

令和八年一月末日までにお申込み願います
事業完遂は、令和八年三月末日の予定です



*奉祝記念事業の工事中は、皆様のご参拝に際しご迷惑をおかけ致す事があろうかと存じますが、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます



記念碑の建立

*第一、第二次記念碑の横に新たに建立し、ご芳名は背部にセラミック陶板で刻ませて戴きます